

2023年のカレンダーもあと2か月を残すのみ、1年が本当に早く感じます。8日は20℃を越える“立冬”には驚きましたが、ようやく冬らしくなりました。全国的にインフルエンザが猛威を振るい、警報発令の地域も増え続けていますが つのぶえでは“溶連菌”が流行り始めましたが、今日はなんと欠席者ゼロでした！一人も欠けることなく全員の元気な笑顔が揃うのは何よりの喜びであり感謝です。これからもこの嬉しい毎日を分かち合えますよう、より一層の感染対策の徹底に努めて参ります。保護者の皆様もご自愛くださいますよう心よりお祈り致します。

さて今日は たくさんの雨が勢いよく降り続ける中、感謝祭礼拝を行いました。世界に先駆けて つのぶえ保育園では、1週間ほど早く開催することとしましたが今年「神様 ありがとう！」そして「みんな ありがとう！」をテーマに掲げて大人の私達が 子ども達みんなへ 出会えた感謝・日々 共に過ごせることの喜び・ひとりひとりへの愛を、こうしてすべてを与えてくださった神様への礼拝の中で子ども達に心を込めて伝えられるひと時にしたいと 祈りを合わせ準備しました。礼拝の入場では、担任が子ども一人ずつ 手を取って 順番に席までエスコートし、日頃の感謝を言葉にして伝えました。この時のみんなの笑顔は それは嬉しそうではにかみながらも何とも言えない喜びに満ち溢れていて、とても可愛かったです。後からの感想では「先生の手が温かかった」「うれしかった」「恥ずかしかったヨ」「なんかね いつもと違う気持ちだった」など…素敵なお顔で伝えてくれました。ステージに並べた机の上いっぱい飾った 数々の 色鮮やかな野菜や果物たちを皆で眺めながら「これぜ～んぶが み～んな “命” だよ。私達が生きる命のために神様は作って与えてくださってるんだよ。そして、一人一人に名前があるようにこの野菜や果物たちもみんな大切だから 一つ一つ ちゃんと名前があるんだよ。」と話すと、子ども達は一層ニコニコの笑顔で 神様からの恵みを見つめていました。「神様はどこにいるのかな？」の問いかけに、小さいクラスの子も達も一緒に上を見上げ「お空！」「天国～！」と一斉に大きな声で指をさして答えていました。「じゃあ、みんなと一緒に神様にきこえるようにいつもありがとうって言おうよ」「うん！」「せ～の」「かみさま いつもありがと～！」明るい声が響き渡りました。そして、今日 唯一人 病気でここに集まれなかった小森先生のことを想いながら今も 闘いや孤独や貧困や悲しみの中に在る多くの人のために 私達と同じ平安を与えてくださいと 皆で心を合わせてお祈りをして、感謝の礼拝をささげました。また、今日の礼拝のメッセージは“先生達から みんなへのプレゼント”として、先生達が作ったオリジナルストーリーの「かみさまありがとう」の人形劇でした。皆の大喜びの拍手と歓声の中で始まりましたが、ウサギちゃんとクマじいさんが登場してくると舞台にくぎ付けとなり 夢中でお話を楽しんでいた子ども達です。それから最後には、隣の部屋に寝ていたみんなの宝物の“ふみふみ(=^・^=)”も礼拝の仲間入りをして『神様が連れてきてくださった新しい小さな命との出会い』を改めて感謝しました。ふみふみはいつものように 静かに優しく皆を見つめ、その姿に私達も温かな想いになり「ずっと大切に育てようね」と誓い合いました。その後のお昼は 給食の先生が心を込めて作ってくれた『特製・ふみふみ弁当』！ふみふみの形のごはんに 皆の笑顔がまたまた満ち溢れ、おいしい！と完食でした。「お山のみんなが申します 神さま みんなありがとう」の皆の大好きな讃美歌のように、子ども同士・子どもと先生・先生同士…それぞれに 互いの心が通い合うととても温かな楽しく明るい時を分かち合えたことを神様に心から感謝致します。「神の近くにいることが しあわせなのです。(詩篇 23：28)」 (石田 記)